

出席自治体提出資料

(待機児童の多い市区町村における緊急対策実施状況)

目次

○緊急対策実施状況 集計表	P. 1
○緊急対策実施状況 個票	
宮城県仙台市	P. 2
千葉県市川市	P. 6
東京都中央区	P. 10
東京都文京区	P. 14
東京都世田谷区	P. 18
東京都中野区	P. 22
東京都杉並区	P. 26
東京都葛飾区	P. 31
東京都立川市	P. 35
東京都三鷹市	P. 39
東京都府中市	P. 43
東京都調布市	P. 47
大阪府豊中市	P. 51
兵庫県明石市	P. 55
沖縄県浦添市	P. 59

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況 集計表

緊急対策の主な項目	実施済み (以前から実施) (◎)	平成28年 4月1日 から実施 (○)	実施 予定あり (△)	実施 予定なし (×)	仙台市	市川市	中央区	文京区	世田谷区	中野区	杉並区	葛飾区	立川市	三鷹市	府中市	調布市	豊中市	明石市	浦添市
◆ 保育コンシェルジュの設置促進	10	1	3	1	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	×	◎	◎	△	◎	△	○
◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進 (国基準を上回る部分を活用)	4	0	2	9	×	×	◎	◎	×	×	×	×	×	×	△	◎	△	×	◎
◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援 (認可化移行期限の緩和、児童一人当たり概ね5,000円程度の運営費補助)	4	1	2	8	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	×	○	◎	△	△	×	×
◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可	11	0	1	2	◎	◎	◎	×	-	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	△
◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行 (連携施設設定に市区町村が積極関与、19人を超えた受け入れ拡大(22人まで))	8	1	5	1	○	△	◎	×	◎	◎	△	△	◎	◎	◎	△	◎	△	◎
◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等	9	2	3	1	○	◎	×	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	◎	◎
◆ 定員超過入所の柔軟な実施	5	3	1	6	○	○	×	◎	◎	×	×	◎	×	×	◎	×	△	○	◎
◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化	1	1	4	9	○	×	×	×	×	×	△	×	×	×	△	×	△	◎	△
◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進	8	3	2	2	◎	◎	○	△	◎	◎	○	△	◎	◎	◎	○	◎	×	×
◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進	0	6	4	5	×	○	△	×	△	○	×	○	△	×	○	○	○	△	×
◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進	6	1	4	4	×	◎	◎	◎	△	×	◎	△	×	◎	△	△	◎	○	×
◆ 短時間正社員制度の推進等	5	1	2	7	◎	◎	×	◎	◎	×	◎	×	○	×	△	△	×	×	×
◆ 保育士の子どもの優先入所	2	1	8	4	○	◎	△	×	△	×	△	×	△	△	△	×	△	△	◎
◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施	1	7	2	5	×	△	○	○	×	×	×	○	○	◎	△	○	○	×	○
◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化	4	4	3	4	○	×	△	△	△	×	◎	◎	○	×	◎	◎	○	○	×
◆ 小学校の空き教室等の活用	5	0	2	7	×	◎	×	△	◎	×	◎		×	×	△	×	◎	◎	×
◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進	3	4	1	7	○	◎	○	×	◎	×	○	◎	×	×	△	×	○	×	×
◆ 地域のインフラ(空き家、空き教室など)を活用した一時預かりの推進など	1	0	3	11	×	△	×	×	×	×	◎	×	×	△	△	×	×	×	×
◆ 改修費支援の拡充	4	8	1	2	○	○	◎	○	△	○	○	◎	○	×	◎	◎	○	○	×
◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用	4	0	5	6	◎	×	×	×	△	×	◎	△	◎	×	△	◎	△	×	△
◆ 広域的保育所等利用事業の促進(送迎バスを活用し圏域を超えた利用支援)	0	0	2	13	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×
◆ 地域の中での円滑な整備促進 (防音壁設置、合意形成支援のコーディネーター配置)	3	2	2	8	○	×	×	△	◎	×	○	×	×	◎	◎	×	△	×	×

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：仙台市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していただいた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

* 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。

* 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。

* 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。

* 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	各区に2名ずつ計10名配置（平成27年11月より各区1名増員）
課題	現在の補助制度が、配置箇所数ベースでの補助基準額となっているが、コンシェルジュのスキルアップや勤務シフトを考慮すると、同一か所に複数のコンシェルジュを配置することが望ましいため、人数ベースの制度とすることが、設置促進・事業効果創出促進に効果が高いと考える。

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	保育所・認定こども園の0歳児室の面積基準について、国では1人3.3㎡以上（ほふくしない子どもは1.65㎡以上）としているところ、本市では5㎡以上としている。 小規模保育事業（B型）において、国では保育士の割合を1/2以上としているところ、本市では2/3以上（保育従事者の必要数が2人の場合に限り、1/2以上を保育士とすることができる）としている。
課題	本市の独自基準については、保育の質の確保のために、長年守ってきた基準（小規模保育事業については移行が想定されている認証保育所で実施してきた基準）であり、基準の緩和については慎重な対応が必要である。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	×
具体的な内容	全ての認証保育施設（せんだい保育室）が平成29年度末までに移行する予定であり、既に移行した施設とのバランス、期限延長による本市財政負担の増を考慮し、現時点では期限を延長しない取り扱いとする。
課題	

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	認可基準を満たす事業者を認可しない事例はなく、年央（7月・11月等）の認可についても可能な限り柔軟に対応している。
課題	認可・確認にあたって外部審議会の意見を聴取する関係上、ある程度、開所時期はまとめる必要がある。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	○
具体的な内容	利用調整にあたり、連携施設を利用できない小規模保育事業等の卒園児には調整指数の加点（10点）を行っている。 面積基準、人員配置を満たせば、22名までの受け入れを可能とした。
課題	本市では3歳未満児の待機児童が約8割を占め小規模保育事業の充実に注力してきたため、卒園後の受け皿に関する連携施設の確保が大きな課題となっている

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	○
具体的な内容	保育所と同程度の保育時間を確保し、小規模保育事業等の連携施設（卒園後の受け皿）として優先入所枠を設定した私立幼稚園に対し、保育士1名分の人件費相当額を助成する予定としている。
課題	上記取組を持続的な制度とするためには安定的な財源確保が課題である

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	○
具体的な内容	利用定員に対する実際の受け入れ数が「2年連続」で120%以上となる場合に公定価格を減額する取扱いについて、受け皿を拡大するため、「5年連続」で120%以上となる場合に公定価格を減額する取扱いに変更した
課題	

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	○
具体的な内容	保育士等の勤務環境改善等に資するため、保護者に説明を行い、同意を求めることを前提に、土曜日の共同保育を実施可能とした
課題	

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	◎
具体的な内容	階層別研修、専門研修、職場内研修、派遣研修、スキルアップ研修と体系別に研修を実施していることから今後も継続的に取り組む
課題	

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	×
具体的な内容	実施予定なし
課題	

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	×
具体的な内容	実施予定なし
課題	

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	◎・×
具体的な内容	◎増員保育士助成の対象を常勤換算後の非常勤職員でも可としている ◎栄養士雇用助成、増員調理員助成及び産休等代替職員補助について、非常勤職員でも可としている ×障害児保育助成の対象を常勤としている ×小規模保育事業（A型・B型）の保育従事者の1/3以上を常勤としている
課題	障害児保育助成については、障害児の担当は幅広い知識が必要であり、非常勤とすることは慎重に検討する必要がある。 小規模保育事業（A型・B型）の保育従事者の割合については、保育従事者の入れ替わりが少ないことが安定した保育環境の維持のために必要である。

◆ 保育士の子どもへの優先入所

実施状況	○
具体的な内容	平成28年11月1日付保育施設等利用開始にかかる利用調整から、保育士等の子どもの優先度をあげることとし、利用調整基準における「児童の家庭の状況等に関する調整指数」について3点を加点する
課題	

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	×
具体的な内容	まずは、再就職支援や地域限定保育士試験の実施等、保育士確保に最優先で取り組むこととし、現時点では基準の見直しは行わない。
課題	本特例の適用により、保育の質を確保できるのか懸念があり、先行他都市の状況等を確認しながら慎重に検証する必要があると考える。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	○
具体的な内容	平成28年第2回定例会において補正予算案を提案し議決されたため、本年度整備分より基準額の引き上げを行っている
課題	東日本大震災後の資材費や労務費の高騰等に伴い、実際の施設整備費と補助基準額のかい離が大きくなっており、整備費用の実態に合わせた補助基準額の引き上げが必要と考える

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	×
具体的な内容	小学校の空き教室など地域の余裕スペースを活用した保育所等整備を実施する際には、今回の補助基準額の引き上げを活用する
課題	

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	○
具体的な内容	国家戦略特区の指定により、都市公園内への保育所設置を推進している
課題	広場の面積や利用状況等から、公園利用への影響を最小限に抑えることができる公園を選定するとともに、公園利用団体や地域住民等の理解を得る必要がある。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	施設整備に合わせ一時預かり事業の拡大を図っており、今後の一時預かりの需要を見極めたうえで対応する
課題	一時預かりだけで事業が成り立つのか検証する必要がある

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	○
具体的な内容	平成28年第2回定例会において補正予算案を提案し議決されたため、本年度整備分より基準額の引き上げを行っている
課題	本市では一部、安心こども基金を活用した改修を行っているが、安心こども基金管理運営要領の基準額は引き上げられなかった

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	◎
具体的な内容	以前より一時預かりの定期利用を実施している
課題	一時預かりの定期利用によって、不定期の利用者が利用しにくい環境にある

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	保育施設等の利用に当たった業車での送迎が多いこと、3歳未満児については送迎バスの利用が難しいことから、実施予定なし
課題	

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	○
具体的な内容	地下鉄沿線における施設立地誘導を図るため、沿線の用地情報等を収集し、事業者側に提供するなど、地権者と事業者とのマッチングが進むような取組みを推進する
課題	

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：市川市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

- ※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。
- ※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。
 なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していただいた内容を転記いただいております。

【留意事項】

- * 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。
- * 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。
- * 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。
- * 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	就学前親子に適した教育・保育施設の利用や子育てを支援するための窓口を、設置し、必要な情報提供、相談支援を実施。
課題	保育園入園希望者の状況を聞き、3歳以上児には、幼稚園の預かり保育の利用でも十分就労が可能な方には幼稚園の預かりを案内している。預かりを知らない方には良い情報提供・相談支援となっている。しかし、新たな子どもの預け先として幼稚園という選択肢を増やすことが可能となったが、時間的・経済的理由で利用されない方も多い状況である。

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	人員配置基準や面積基準を定めている県等の理解が必要である。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	×
具体的な内容	
課題	なし（本市では地方単独保育施策を実施していない。）

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	設置主体及び保育所等の運営実績を問わず、要件を満たしていれば、設置・運営事業者として選定している。
課題	認可保育所の運営実績が乏しい事業者による保育所開設が増えているため、経験不足や認可保育所運営に対する認識の相違等に起因する開設後の運営支援の負担が年々増加している。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	△
具体的な内容	平成29年度より小規模保育事業所の開設を予定しており、連携施設において卒園児の優先入所枠を確保する方向で検討している。
課題	当該卒園児以外の入所希望者の理解を得ることが必要である。また、既存保育所等における3歳以上児の受け皿が不足気味である。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	市単独補助事業として、平成23年度から私立幼稚園預かり保育事業を実施している。預かり保育時間の延長などの内容拡充を図り、待機児童対策を図る。
課題	私立幼稚園に対して、預かり保育事業に対する理解を得ることが難しい。

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	○
具体的な内容	すでに定員を超えて受け入れしている施設もあるが、改めて全私立保育園に定員を超えた受け入れを要請している。
課題	定員超過入園に伴う公定価格の減額調整が緩和されたても、受け入れに対応した保育士の確保が速やかに実施できない。また、一時的な措置であることから、期間延長の最終年度は、受け入れが大幅に減る恐れがある。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	責任の所在が不明確となるため、同一法人などの系列施設間での実施以外は実施に向けた理解が得づらい。また、園児や保護者についての調整事項、確認事項など情報共有が必要となる。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	◎
具体的な内容	公私合同研修の実施 柔軟な給与格付けが可能な助成制度を活用することによるキャリアアップの実現
課題	自己実現を感じる目標は、必ずしも給与や職位ではないため、職員にあった目標設定と到達への支援を経営者がどのように行うかが課題である。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	○
具体的な内容	日誌や連絡帳などの記録を電子化し業務負担軽減を図る。
課題	真に有用な仕組みの選択が難しい。

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	◎
具体的な内容	市単独で定数外職員の配置に要する経費を支給
課題	労働環境改善のため拡大が必要であるが、公定価格に参入すべきであると考えている。

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	◎
具体的な内容	市単独の給与費助成制度の中で対応可能である
課題	

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	◎
具体的な内容	市内の認可保育所等で勤務する保育士等が育児休業から復職する場合、加点による利用調整を行なう。
課題	所定の労働時間以上で復職したかの確認や保育士等が保育所を退職した際の対応に課題がある。

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	△
具体的な内容	実施に向け調整中
課題	家庭的保育者の養成が市町村の取り組みとされているが、マンパワーと費用が成果に結びついていない。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	本市における保育所整備は、賃貸物件の改修によるものが大半であるが、借地料の支援については、将来にわたって財政負担が発生することが懸念される。

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	◎
具体的な内容	空き教室を活用し、保育園分園を2カ所で設置している。
課題	学校及び教育委員会の理解を得ることが難しいほか、光熱水費等の分担や校庭等施設の利用など多くの事項において調整が必要である。また、待機児童が多い地区については、空き教室がなく活用できない。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	平成23年4月より、公園内に保育所が開園している。
課題	規模が小さな公園など近隣住民の住環境に馴染んでいる施設の活用にあたっては、近隣住民の理解を得るための相当な期間が必要となる。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	△
具体的な内容	公立幼稚園の空き教室やこども館の一部を活用し、公設の一時預かり施設として3施設の設置を予定している。平成29年4月開園予定。
課題	公立で新たなサービスを実施するため、保育士を採用する必要があるが、すべて一般財源負担であり、緊急的な取り扱いがない。

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	○
具体的な内容	賃貸物件による保育所整備事業に対する補助限度額の増額 3,200万円→4,100万円
課題	工事費の高騰などにより補助金額が実態と乖離するケースが増えており、更なる財政的な支援が求められる。

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	一時預かりのニーズに供給が不足しているため、定期利用の受け入れは難しい。また、一時預かり事業の国庫補助の仕組みが、私立保育施設での事業拡大を積極的に考える内容になっておらず、見直しが必要である。

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	こども送迎センター及び安全なバス乗降場所の確保。また、利用保育所等の保育士が保護者から児童を預かる必要から、送迎センターにおける責任の所在や保険をどう取り扱うかが課題と考えられる。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育所の設置に向けた近隣説明等は、保育園開園後の運営を考慮し事業者自らが行うこととしている。地域コーディネーターを設置することで、事務負担の軽減が期待できるが、事業者が直接対応しないことへの不満も想定される。

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：東京都中央区

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していただいた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

* 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。

* 「実施状況」欄には、「◎」(以前から実施している)、「○」(H28.4.1以降実施している)、「△」(今後実施予定あり)、「×」(現時点では実施予定なし)のいずれかを記載して下さい。

* 「△」(今後実施予定あり)を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。

* 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	園長OB等の2名で、月1回出張所や保健所・保健センターに出向き、保育園入園に関する相談を行っている。
課題	予約制ではないため、毎回申し込みが多く、2名では対応しきれなくなっている。

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	◎
具体的な内容	新規開設園の4歳児・5歳児の空きスペースを活用して、1年間の期間限定で、待機児童の多い1歳児を受入れている。(期間限定型保育事業)
課題	2歳児にあがるときの受入れ確保の問題がある。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	新規参入事業者でも、基本的には常時受け付けている。
課題	保育所運営経験の少ない事業者に対しては、保育所開設までにかんがりの支援は必要であり、実現に至らない場合も多い。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	◎
具体的な内容	小規模保育事業所入所児が3歳児にあがるときに加点あり。ただし、連携園がある保育所の入所児については加点なし。
課題	0歳児から2歳児までを面積一杯まで受け入れているため、小規模保育事業所の定員弾力化は、面積的に難しい状況である。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	×
具体的な内容	
課題	中央区の公立幼稚園はほとんどの施設が小学校との併設のため施設の難しい状況である。

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育士に余裕がなくなり、保育の質に問題がでる。特に、支援が必要な児童などが増えており、基準以上の職員配置が必要になってきている。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	事業者が違うため、調整が必要。保育所が違うと保護者や園児に負担がかかる。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	○
具体的な内容	研修に派遣できない園が多いため、園長OB等が各私立認可園の希望する歳児のクラスに出向き、1日つきっきりで実地研修を実施。今後、希望があれば、園長の実地研修も検討している。
課題	園長や保育士が経験不足のため、1回の研修では済まない状況である。しかし、指導する側の人数にも限りがあるので、2回以上実施できないところが課題である。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	△
具体的な内容	平成28年度9月補正予算に計上中。可決されれば実施する予定。
課題	他区にまたがって開設している園は、導入時期を統一するところもあり、全ての園が利用する状況ではない。

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	◎
具体的な内容	給食の準備やかたづけ、教室の清掃など保育以外の業務を行う保育補助者を雇用した場合には、費用の一部（月額90,000円限度）を補助している。
課題	職員の入れ替わりが多く、事務が煩雑となる。

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	△
具体的な内容	
課題	保育の必要性という観点から、不公平感が生じる可能性がある。

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	○
具体的な内容	保育士と同等の知識及び経験を有する者並びに幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭などの保育士資格のない者について、法人の代表や施設長が指定した書類等を提出してもらい、保育士と同等に扱う。
課題	保育の質の影響について、今後確認していかなければならない。また、資格取得について促進していく必要がある。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	△
具体的な内容	
課題	中央区という土地がら賃借料が高く、予算が膨らむ。

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	児童数が増加しており、小学校等の空きスペースがない。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	○
具体的な内容	・空いている道路用地の一部を用途変更して保育所を整備する。(平成30年4月開設予定) ・公園を立体化し、公園の下に保育所を整備する。(平成31年4月開設予定)
課題	インフラ整備が必要。 法の規制が強く、多くの課題をクリアしていかなければならない。

◆ 地域のインフラ(空き家、空き教室など)を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	物件がない。

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	◎
具体的な内容	賃貸物件による改修経費について、国の補助の上限まで助成する。
課題	国と都と補助金があり、補助金の仕組みが複雑であり事務量が増大している。

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	現在の保育所等の余裕スペースがない。

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	都心区では、周辺区でも待機児童が発生しており事業を実施するにはそぐわない。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	本区では不動産業界に物件の紹介の協力を依頼し、紹介のあった物件を職員が保育事業者と調整した方がスピーディーに進む。

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：文京区

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

- ※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。
- ※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。
 なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していただいた内容を転記いただいております。

【留意事項】

- * 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。
- * 「実施状況」欄には、「◎」(以前から実施している)、「○」(H28.4.1以降実施している)、「△」(今後実施予定あり)、「×」(現時点では実施予定なし)のいずれかを記載して下さい。
- * 「△」(今後実施予定あり)を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。
- * 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	保育課職員が「保育ナビゲーター」として、認可保育園の入園相談だけでなく、認可外保育施設も含めた各種保育サービスの情報提供や相談業務を行っているところである。
課題	

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	◎
具体的な内容	私立認可保育所については、人員配置基準について国の最低基準どおりの基準で運用している。面積基準については、都の基準(乳児室1人につき3.3㎡以上)どおりで運用している。
課題	

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	×
具体的な内容	
課題	認証保育所を残してほしいとの声があることから、更なる認証保育所の認可化については、慎重にならざるを得ない。

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育の質を確保するためには、客観的な認可基準を満たしている場合であっても、本区等での保育所運営内容に課題のある事業者については、参入について慎重に判断する必要がある。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	×
具体的な内容	3歳児については待機児童が数名発生している状況にあり、今後、小規模保育所整備の拡充を進めると3歳児の受け皿を確保することが困難な状況にある。
課題	小規模保育園等での3歳児クラス以降の入園先の確保を検討するにあたっては、現在の2歳児クラスまでの認可保育所における卒園児の取扱い（卒園児加算の特例はあるが、政策転園は認めていない。）との調整を図る必要がある。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	○
具体的な内容	28年4月より、区立幼稚園において長時間の預かり保育を実施している。（午前8時から9時まで及び教育課程終了後から午後6時まで）
課題	

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	◎
具体的な内容	すでに各保育所については、人員配置基準、面接基準を満たすことを前提に、定員の弾力化を要請しているところである。 当該緩和方針を踏まえ、120%を超えて上記の基準を満たすことのできる事業者については、保育の質が担保できる体制であることを前提に、更なる弾力化が可能かどうか検討を要請している。
課題	

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	土曜日における複数園共同での保育の検討にあたっては、事故が発生した場合等における各園の責任の所在の明確化等、事業者間での一定のルール作りが必要となる。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	△
具体的な内容	国等の実施する研修メニューについて、実施内容が判明次第、区内保育所への周知を行い、積極的な受講を促す。
課題	

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	×
具体的な内容	保育事業者の意向を踏まえ、国の補助金を活用してのICT化支援を行うかどうか検討を行う。
課題	

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	◎
具体的な内容	すでに27年度より、国・都の補助金（保育体制強化事業補助金）を活用し、保育補助者雇い上げ支援を実施している。
課題	

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	◎
具体的な内容	すでに、短時間勤務の保育士についても、常勤換算をした上で、認可基準上の職員としてカウントすることを認めており、各保育事業者において短時間勤務の保育士を活用しているところである。
課題	

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	×
具体的な内容	公平性の観点から、他の保護者の理解が得られにくいものとする。
課題	

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	○
具体的な内容	当該特例措置について、すでに区内保育事業者への周知を図っている。 なお、「知事が保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者」の内容については、認可保育所、認証保育所等で、継続して1年以上、乳幼児の直接処遇を担当した経験を有する者（継続して勤務した期間中の勤務実績は、少なくとも月平均80時間以上とする。）とされていることから、保育の質の低下につながらないように、各事業者における適切な運用を要請しているところである。
課題	

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	△
具体的な内容	都の制度スキームが具体的に判明次第、整備費への新たな支援策として、積極的に活用する。
課題	

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	△
具体的な内容	・平成30年4月以降の開設を目指し、都有地・区有地の活用についても検討している。 ・学校施設について、引き続き活用場所や保育施設の種類を含め、設置の可能性を具体的に検討している。
課題	小学校就学児童についても増加傾向にあり、小学校の空き教室の活用は難しくなっている。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	×
具体的な内容	活用可能な公園等があるかどうか、引き続き検討を行うとともに、都立公園等都有地の提供があれば、随時検討していく。
課題	

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	活用可能な物件があるかどうか、検討を行う。
課題	空き家として区が把握している物件については、保育室としての活用が難しい。

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	○
具体的な内容	国・都の補助メニューを活用し、平成29年4月開設の小規模保育施設の整備を進めている。
課題	

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	既存の一時預かり保育の利用枠を削ることとなるため、慎重な検討が必要である。

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	近接区においても保育利用枠に余裕がある状況ではなく、また、本区では遠距離通所は想定しにくいと、なじまないものとする。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	△
具体的な内容	国・都の補助メニューを踏まえ、当該補助金を活用した防音壁の設置について検討し、地域住民との合意形成につなげていく。
課題	

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名： 世田谷区

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

- ※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。
- ※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。
なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していただいた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

- * 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。
- * 「実施状況」欄には、「◎」(以前から実施している)、「○」(H28.4.1以降実施している)、「△」(今後実施予定あり)、「×」(現時点では実施予定なし)のいずれかを記載して下さい。
- * 「△」(今後実施予定あり)を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。
- * 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	利用者支援(特定型)を「子育て応援相談員」として各子ども家庭支援センターに配置している。保育を含めた子育てに関する相談やサービスの案内、関係機関へのつなぎ等の一定のコンシェルジュ機能を果たしている。
課題	現在の保育待機児童の状況においては、保育施設の利用を希望する世帯に対して、的確な案内をすることができる保育施設がない。保育施設整備に加え、地域子育て支援基盤の整備、人員体制強化によるアウトリーチ等の充実により、機能の強化を図る必要がある。

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	実施の有無について慎重に検討している。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	◎
具体的な内容	【世田谷区保育室】 ・平成28年4月に認可保育所へ移行を予定していた保育室1室に対して国の補助制度を活用し、27年度に運営費補助を行った。 ・今後、区で保育室への移行支援策として、「(仮称)世田谷区保育室移行支援計画」を策定し、この計画を基本として、各保育室において、個々の新制度への移行計画を策定し、円滑な移行に向け、人材育成や運営改善を図ることを条件に、改正後の国制度を活用し、運営費補助を増額する
課題	改正後の要綱に記載の地方単独保育施設加算について、平均利用者負担額(保育料)の考え方や区が従来から実施している保育料負担軽減補助との関係等の解釈等を東京都を通じて国に照会を行っている。区の補助要綱制定等実施を急ぐため、早期の回答をお願いしたい。

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	—
具体的な内容	
課題	認可権限のある東京都の指導のもと、保育士確保や人材育成が追いつかない現状があるため、慎重な判断が必要な場合がある。保育の質を確保しつつ、保育事業に参入に意欲のある法人を確保し、定員増をはからなければならない。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	◎
具体的な内容	平成27年度の利用調整から、年齢上限のある区内の保育所等(利用調整の対象となる保育施設・地域型保育事業に限る。)の最終年齢クラスを卒園し、引き続き区内の保育所等の利用を申し込む場合(卒園時の受入先が確保されている場合を除く)に、利用調整基準を加算するとともに、同一指数の優先順位第一段階目に優先する対応を行っている。
課題	卒園後の受け皿となる連携施設の確保は、待機児童が多い中、家庭的保育事業所等との距離関係も重要であること、家庭的保育事業等の趣旨、保育の質、育ちの観点などからも、3歳以上児の受入については慎重に検討したい。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	平成10年より区独自で実施している事業について見直しを行い、平成28年度より幼稚園の運営時間に対応した制度を新たに構築するなど、事業実施園の拡充に努めている。
課題	国の一時預かり事業(幼稚園型)は、認定こども園への移行を前提とし、実績に基づく補助制度となっており、私立幼稚園が安定的に実施できるように保育人材確保のための人件費に対応する補助単価の設定や、私学助成との併用を限定的に認めていただく等の補助事業の見直しなど、幼稚園の経営の実態を踏まえた制度設計がないと促進が困難である。

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	◎
具体的な内容	定員弾力化については、以前より実施しており、引き続き実施して行く。なお、平成27年度以降に開設した保育園については定員弾力化を実施していないが、待機児童の多い0~1歳児クラスについては、ほぼ面積いっぱい定員を設定していること、4~5歳児クラスに空きがある場合、定期利用保育事業の実施を促していることから、新規開設園については定員弾力化は不要と考えている。
課題	

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	本園・分園間では共同保育を実施している園があるが、別法人の園の場合、情報の共有や保育の継続性の担保、また運営費の割り振り等課題が多い。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	◎
具体的な内容	以前より、保育に関する研修については研修体系をつくり、職員の経験年数や立場、施設の種類によって様々な研修を選択できるよう推進している。
課題	積極的に研修を実施することで、保育運営上では、常に研修受講生が生じてくる。そのための常勤保育士加算が必要である。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	△
具体的な内容	平成28年第3回定例会において補正予算案を提案 平成28年10月より平成28年4月支払い分に遡って対象とする予定
課題	本格的なICT化を推進するためには、補助単価が低い。

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	△
具体的な内容	平成29年度より実施予定
課題	

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	◎
具体的な内容	区の独自加算における常勤職員は、1日6時間以上かつ月20日以上勤務する職員としている。またパート職員に対しての助成も実施している。（11時間開所パート保育士加算、夏期パート保育士加算、パート調理員加算、パート職員通勤手当加算、調理調乳にあたるパートの検便等）
課題	短時間勤務従事のため、就学前児童について保育園入園の申し込みをした場合、指数が低くなることから、保育園への入園が難しくなる。

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	△
具体的な内容	保育士等の職種の保護者に対して、育児休業を明けて復職する必要がある場合、利用調整の調整指数等において優先利用の対応を行うかどうか、区の子ども・子育て会議に部会を設置し検討している。
課題	・保育の担い手としては、保育士、幼稚園教諭、保育教諭などの職種が考えられるが、0歳児保育を実施している園で必置の看護師、栄養士や他の職種についても対象とするか。対象職種の範囲を検討する必要がある。 ・保育施設を区内に限定するかどうか。また、認可保育園等に限らず認可外保育園等も実際の保育の担い手といえるが、保育士等の勤務先はどの範囲まで設定していくか。他の自治体等の状況を踏まえ検討する必要がある。

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	×
具体的な内容	
課題	実施の有無について慎重に検討している。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	△
具体的な内容	平成29年4月以降、「土地借料加算」及び「定期借地権設定のための一時金の加算」を活用するか検討中。
課題	事業者や地権者の関心も高いため、制度の詳細について、できるだけ早く周知をお願いしたい。

◆ 小学校の空き教室等(公営住宅・公民館・公有地等)の活用

実施状況	◎
具体的な内容	地域の余裕スペース活用促進加算の活用予定：平成28年度6箇所（国有地1箇所、所有地3箇所、区有地2箇所）
課題	来年度以降も国有地2箇所、区有地（中学校敷地内含む）2箇所の計画があるものの、これまで全庁あげて活用可能な区有地等の洗い出しを行い整備をすすめてきたため、今後、活用できる区有地等の創出が困難である。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	都立公園における地域の余裕スペース活用加算の活用予定：2箇所（都立祖師谷公園、都立蘆花恒春園）
課題	公園内整備計画地の選定にあたっては、水路敷等公共物の存在やライフラインの引込みなど、建築上の課題により整備候補地が限定されることがある。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	空き家については、保育施設としての安全性の確保や近隣との関係（子どもの声等）に課題があると考えられる。（現在区では、私立保育園整備時に同時に一時預かり事業実施を促している。）

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	△
具体的な内容	要綱が示された後、協議を行なう予定 (賃貸物件による保育所改修費等支援事業：6園予定)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・工事等における不測の事態が起きた場合にも、2ヵ年に渡る整備が可能な補助制度としていただきたい。 ・既存の認可保育園に低年齢児に特化した分園の設置をより一層推進したいため、この分園整備に対する基準額を増額していただきたい。 ・低年齢児を預かる施設から進級してくる幼児の受け皿を確保するために認可保育園を改修する場合を含めるなど、活用しやすい補助制度としていただきたい。 ・現行の補助基準額では内装改修の工事費が賄えないケースが多いため補助額の増額をしていただきたい。

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	△
具体的な内容	東京都の補助制度を活用し、定期利用保育事業を実施してきたが、平成28年10月より、緊急的な一時預かり事業を活用していく（一部、利用者負担軽減についても同時実施）。次年度に向けても4、5歳児室の空きスペースや1、2歳児室の面積に余裕がある場合に積極的な実施を促していく。
課題	

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	△
具体的な内容	平成29年4月より、認可保育所の分園に併設する送迎保育ステーションから送迎保育を実施する予定である。開始当初は、1つの社会福祉法人が駅前の分園から、同一法人の運営する認可保育所2ヶ所を経由する送迎保育事業を実施する。
課題	事業実施にあたっては、整備可能な駅前等の利便性の高い物件や、送迎を受け入れる認可保育所の確保が必要であるが、区内の賃借料の状況から、物件の確保が容易ではない。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	◎
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から専門的ノウハウを有する民間事業者へ近隣対応支援業務を委託している。 ・支援業務としては、整備計画地の周辺状況の調査・分析などを行った上で、対応方針の検討、住民説明会などにおける進行や対応に対する助言・指導を行うなどを主な内容となっており、必要に応じて、委託先の契約弁護士も相談を行うことも可能となっている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設の整備にあたり、近隣の方々から反対されるケースが増加傾向にあるとともに、地域によって意見や要求も多様化、高度化している状況のため、保育運営事業者や建設会社も対応に苦慮している。 ・保育施設整備の計画数に比べて、対応できる専門的知識や経験を有する民間事業者が少ない。

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：中野区

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

* 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。

* 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。

* 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。

* 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	△
具体的な内容	平成28年度内に子ども総合相談窓口の委託化に伴い、職員による子育てコンシェルジュを開始する予定である
課題	区民の需要聞き取りをどの程度まで掘り下げるかについて検討中

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	面積基準については、0歳児のみ国基準に上乗せしている（5㎡/人）が、これを緩和して受入数を多くしても、進級後の1歳児の定員増は図ることができないためあまり意味がない。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	東京都認証保育所のうち、認可保育所の施設基準を満たしている施設について、拡充を図った上で認可保育所への移行した。
課題	保育の質の担保の観点から、法人に対し一定の運営実績を求める必要があると考えている。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	◎
具体的な内容	現在は利用調整により対応しているが、今後連携施設の考え方を整備していく。
課題	認可保育所（0～5歳）の整備において、2歳児と3歳児以上の定員に差を設け、円滑移行できるよう誘導しているが、整備費や公定価格（運営給付費）にインセンティブが無いので、区としても対応に苦慮している。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	幼稚園型一時預かり事業実施園の増（現在21園中1園で実施）
課題	各幼稚園に再度制度の周知を行っているが、人員体制や幼稚園の教育方針等の問題により実施園がなかなか増えない。

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	×
具体的な内容	
課題	各保育園の面積から難しい状況である。また、保育士確保の面からも難しい。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	◎
具体的な内容	多様な保育施設対象の研修H. 27年度20回。H. 28年度26回と保育人材の資質向上・キャリアアップのため研修回数増。 更なる工夫として、多様な保育施設が参加しやすい夜の研修を実施している。
課題	保育経験年数が少ない人材が多く、さまざまな課題に対応しなければならない保育の質のレベルアップが難しい。現在も行ってはいるが、グループワークや実習等、体験型の研修を多く取り入れ、学びの機会を増やす必要がある。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	○
具体的な内容	国の事業補助を活用し、保育業務支援システムの導入を希望する保育所等にその経費の一部を補助しICT化を推進する。
課題	

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	×
具体的な内容	
課題	短時間勤務の保育士が増えると安定した継続的な保育を担保できるか懸念がある。

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	×
具体的な内容	今後検討予定
課題	周辺区市町村と同時期・同内容で導入すべきと考えている。

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	×
具体的な内容	検討中
課題	

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	活用可能な案件があった場合は検討したい。

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	※活用にあたり、①保育施設として利用するために必要な改修工事費が財政負担となること、②（2か所2方向やバリアフリーなど）既存不適格の（場合の）建物内に新規の認可保育所等を整備することの2点が障壁となっている。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	・公園を活用する場合、近隣住民の理解を得ることが課題となる。 ・中野区には都立公園や国立公園のような大規模な公園が無いことから、国都の公有地の活用(公園だけでなく国都施設の建替え時に保育所を併設する等)も含めて設置促進を図るべきと考える。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	地権者との調整、2方向避難などの設備・運営の基準を満たすための改修費負担について検証が必要である。

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	○
具体的な内容	既に国の基準を上回る補助を実施しているものもある。 ・賃貸物件型改修費補助補助基準額7千万円、補助率7/8
課題	

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	×
具体的な内容	子ども・子育て支援新制度における余裕活用型の一時的預かり事業は行っていないが、定員に余裕がある同事業対象施設において定期利用保育を実施している。
課題	

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	×
具体的な内容	今後検討予定
課題	

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：杉並区

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

* 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。

* 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。

* 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。

* 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	平成25年以降、区独自に入園相談の受付担当をコンシェルジュと位置づけ、利用者の立場に立ったマッチングに取り組んでいる。
課題	認可外保育施設を含め、3歳以下の受け入れ先が不足しているため、実質的なコーディネートが難しい状況にある。

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育の質の確保と労働環境の維持の点で疑問がある。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	◎
具体的な内容	昨年度、1園が認可外保育施設から認可保育所に移行し、「認可以降運営費支援事業の補助」を活用した。
課題	・今後、認可移行期限内で移行が完了しないような認可移行相談があった場合に、移行期限緩和に係る支援を検討する。 ・認可保育所に移行することで、運営事業者が自ら入所者を選定できなくなることなどから、認可保育所への移行を希望しない事業者がある。

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25、26年度は、保育事業者から開設の提案が多くあったことから、計画数を上回る認可保育所の整備を行った。 ・今年度は、平成29年4月の入所申込者の増加が見込まれ、計画数を上回る整備が必要なため、認可保育所の整備を中心とした待機児童緊急対策に取り組んでいる。
課題	

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	△
具体的な内容	<p>特定の保育所を連携園とするのではなく、区内全域の認可保育所を対象に入所調整することとした。そのため、新設園にはその定員構成上、2歳から3歳の受入数を増やすよう条件付けるなどの対応をしている。</p>
課題	<p>現行の調整指数では確実に卒園児の受入れができない可能性があるため、調整指数の見直しが必要となる。</p>

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	<p>平成22年度から区の単独事業として、「杉並区私立幼稚園長時間預かり保育費補助事業」を6つの私立幼稚園で実施している。長期休暇期間中を含み11時間以上の保育を実施しており、待機児童解消に貢献している。</p>
課題	

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	×
具体的な内容	<p>保育室の面積基準の範囲で保育定員を超えた受入れ（弾力化）を行っているが、120%以上の受入れまでは行っていない。</p>
課題	<p>120%以上の受入れを行った場合、保育の質の確保と労働環境の維持の点で疑問がある。</p>

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	△
具体的な内容	<p>今後、実施に向け周知を図っていく。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の利便性を考慮しながら、実施方法（拠点園または当番制）及び実施園を決定した上で、安全・安心の観点から、アレルギー等、配慮を要する児童の情報共有を確実に行う必要がある。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	○
具体的な内容	就職前の期待と現実とのギャップへの対応、保護者対応について杉並区私立保育園連盟に研修を委託している。
課題	現役保育士については、就業時間中の研修参加が難しく時間外や日曜日の研修参加について時間外手当に相当する費用負担を求められている。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	業務効率化については、初期投資費用と補助メニュー（100万円）との差が大きい。カメラの設置目的が防犯上のものでなく事故が発生した場合の記録であるとされていることなどから、個人情報の保護などについて調整が必要である。

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	◎
具体的な内容	保育所の人材確保策について保育士資格取得支援事業と併せて実施することで有効である。
課題	貸付事業であり、返還免除が「貸付期間中又は貸付終了後1年の間に保育士資格を取得すること。」になっているため、保育士資格取得支援事業と併せて実施する必要がある。

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	◎
具体的な内容	私立保育所において、従前から短時間正社員制度は導入している。
課題	保育士本人が希望する勤務時間帯と保育園側が希望する勤務時間帯との調整が必要である。さらに、短時間勤務に対する残りの時間帯に配置する代替保育士の雇用のための財政的支援が必要である。

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	△
具体的な内容	平成29年4月から就労状況などに基づき付される指数が同点の世帯がいた場合に適用する。対象者は、区内の民間保育施設に勤務する区内在住の有資格の保育士で、育児休業を取得しており、入所月に復職するもの。
課題	対象外となる他自治体の保育施設に勤務している杉並区民の保育士やその反対の状況にある保育士がいることを踏まえ、広域的に行っていくことが望ましいと考える。

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育の質の確保と労働環境の維持の点で疑問がある。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	◎
具体的な内容	認可保育所整備を促進するために、区が運営事業者に用地を貸し出す場合の賃借料は、整備期間及び運営開始後3年間は無料とし、その後、評価額に基づき算出した価格の1/3で貸し付けている。
課題	

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	◎
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、旧小学校の教室や区会議室、区民事務所、区職員会館など13箇所を保育施設を保育施設として活用している。 ・現在、中学校の隣接用地を活用し、平成29年4月開設の認可保育所整備を行っている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの整備は、認可外保育施設であったため、「地域の余裕スペース活用促進加算」の対象とならなかった。 ・今年度整備の、中学校隣地を活用した整備は、運営法人が株式会社であるため、補助の対象外である。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	○
具体的な内容	・今年度は、平成29年4月開設に向けた保育施設整備のため、区立公園等を活用した整備を行っている。
課題	・「地域の余裕スペース活用促進加算」の対象となる整備ではあるが、区が貸し出す用地の賃借料を整備期間及び運営開始後3年間は無料とし、その後、評価額に基づき算出した価格の1/3での貸付を行っている。「地域の余裕スペース活用促進加算」を行う場合、区の負担額も増加することになる。区負担を増やして「地域の余裕スペース活用促進加算」を活用しなくても、杉並区での整備促進のインセンティブは十分働いていると考える。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	◎
具体的な内容	区立公園の一部や区施設の空き部屋、緑地公園事務所の敷地の一部などを定期利用施設として整備し運用する。
課題	

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	○
具体的な内容	小規模保育所等への改修費等の支援を実施
課題	改修が可能な物件の確保が課題である。

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	◎
具体的な内容	私立保育園において、一般型一時預かり事業を活用して緊急的に定期利用保育事業を実施している。
課題	現在、1か所だけで実施しているため、実施園の拡充が課題である。

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	近隣自治体においても待機児童が出ており、相互の受入れは難しい。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	○
具体的な内容	整備用地周辺の住民は、保育施設整備には理解を示しながらも、整備後の騒音等への不安から、整備への反対を唱える場合があるが、設計に防音壁設置等の対策を盛り込み、粘り強く対応していく。
課題	理解を得るのが難しい地域もあるが、今後も、防音壁設置対策等を活用しながら対応し、確実に保育施設整備を進めていく。

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：葛飾区

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していただいた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

- * 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。
- * 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。
- * 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。
- * 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	保育所等入園相談の窓口に、入園手続きの流れや保育サービスを紹介する職員を配置し、随時相談を受け付けている。
課題	夜間・休日など時間外の相談の実施を検討していく必要がある。

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	現行の質の確保に課題があり、また保育士の負担増が懸念される。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	◎
具体的な内容	認可化移行を目指す認証保育所に対して、支援を行っている。
課題	区の利用調整、毎月の給付費の支払等といった、認可保育所になることで生じる一連の事務について、十分な説明を行う必要がある。

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	△
具体的な内容	概ね31年度（区の子ども・子育て支援事業計画の最終年度）までの移行を目指している。（開始予定時期未定）
課題	3歳児以降の受け皿（定員）の確保について、認可保育所や幼稚園等との調整が必要である。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	3期休業中に一定日数以上の開所を行う幼稚園や認定こども園（教育部分）に対して、加算方式により補助を行う。
課題	人員の配置や充実した保育を行うための安定的な収入の確保について、今後も検討していく必要がある。

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	◎
具体的な内容	認可保育所における定員の弾力化による児童受入れを行っている。
課題	施設条件、職員条件が満たされている場合には特に問題はないが、公定価格の受領の為に意図的に定員を低く設定する事業者が出てくる恐れが考えられる。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	法人が同じ場合は運用が進むと思うが、そうでない場合は現実的には困難であると思う。また法人が同じでも共同保育を行う際には、保護者の理解を得る必要がある。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	△
具体的な内容	資質向上等のための取組みに対して区が支援を行う方法としては、研修参加費の補助等の間接的な支援を検討している。（開始予定時期未定）
課題	成果を把握することができる直接的な支援についても検討していく必要がある。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	○
具体的な内容	各施設が保育業務システム導入等を行った際に、導入経費の一部に対して補助を行う。
課題	保育士の負担軽減につながっているか等、費用対効果を検証していく必要がある。

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	△
具体的な内容	短時間勤務の保育補助者が保育士資格を取得し、継続して勤めることができるための支援を行う予定である。（平成29年4月開始予定）
課題	真に保育士を目指す人に対する支援という内容を各施設に理解してもらう必要がある。

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育士には公立保育所・私立保育所があり、公立保育所の保育士（公務員）の優先入所について整合性を図る必要があるため。

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	○
具体的な内容	国の緩和策に倣い、雇用の段階及び児童が少ない時間帯において、「幼稚園教諭等の資格保有者」や「保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者」を配置基準上の職員として認めることとする。（基準上必要となる職員数の3分の2以上の常勤保育士の配置を必要とする。）
課題	「保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者」について明確化し、各施設に対して説明、指導していく必要がある。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	
具体的な内容	
課題	

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	△
具体的な内容	既存の一時預かり事業を活用して、緊急一時預かりを実施することを検討している。（平成29年4月開始に向けて検討中）
課題	どのように定期的な受入れに繋げていくかを検討する必要がある。

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：立川市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していただいた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

* 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。

* 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。

* 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。

* 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	現行の窓口体制で丁寧な相談対応を行っている。また、小規模保育事業卒園児全員を優先して入園決定しており、相談・紹介・案内業務のニーズは低い。

◆ 保育所等への臨時的な受け入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育士不足の現状を踏まえ、保育の質をこれ以上低下させないためには臨時的な受け入れ強化は難しい。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	×
具体的な内容	
課題	市内の東京都認証保育所5園については、現行設備で最大の定員を設定しており、当該支援による受け入れ強化は難しい。

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	従来から設置主体は問わず、意欲のある事業者の積極的な参入による施設整備を行っている。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	全ての小規模保育施設等において連携施設の設定は市が関与している。また、卒園児全員を優先して入園決定している。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	施設型給付を受けない幼稚園1園が幼稚園型一時預かり事業を行っているが、他の10園は、補助金額を比較し私学助成による預かり保育を行っている。

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育士不足の状況と保育の質の確保の観点から、年間平均在所率120%を超える定員超過入所は行っていない。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	留意事項通知の改正後、事業者の実施要望の有無を把握したい。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	都の補助制度を活用し、保育士等が保育の専門性を高めながら、やりがいを持って働くことができるよう、保育士等のキャリアアップの取組に要する費用の一部を補助し保育サービスの質の向上を図っている。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	△
具体的な内容	平成28年9月補正予算において、国の補助金を活用し私立認可保育所全23園分を予算化し事業を進める予定である。
課題	

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	事業者からの制度活用の要望が無いため実施していない。

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	○
具体的な内容	
課題	認可保育所の全事業者に対し周知を図った。

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	△
具体的な内容	平成29年4月の利用申し込みに向け、指数調整等の検討を行う。
課題	

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	○
具体的な内容	
課題	国の省令改正に伴い、本市の条例を改正した。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	○
具体的な内容	
課題	施設整備に伴い当該加算が適用となる場合は活用していきたい。

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	小学校の空き教室以外で施設整備の対応が可能のため予定していない。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	公園以外で施設整備の対応が可能のため予定していない。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	緊急的に待機児童の一時預かりを実施するニーズは低く、当面、地域インフラを活用した一時預かり事業の実施予定はない。

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	○
具体的な内容	
課題	施設整備に伴い各事業を実施していく場合は活用していきたい。

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	認可保育所における一時預かり事業（一般型）の拡充を引き続き行う。

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	市内及び近隣市では待機児童の地区別の偏りは限定的であり、事業実施は難しい。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育所等の設置、運営の円滑化については、市担当職員と事業者で担っている。

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：三鷹市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

- * 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。
- * 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。
- * 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。
- * 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	潜在的保育ニーズについて、よりきめ細やかに把握する必要がある。

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	既に公立保育園において弾力化による保育定員の拡充に取り組んでいる。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	○
具体的な内容	
課題	認可外（東京都認証保育所）から認可保育園への移行を図る際に、制度の相違点等について既に入園している保護者等に対し、十分な説明が必要。

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	×
具体的な内容	
課題	対象施設がない

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	希望するすべての児童の移行先（認可園）を確保している。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	<p>一時預かり事業（幼稚園型）への移行における課題</p> <p>① 実施にあたって、必要となる人員の配置が難しい</p> <p>② 利用者が居住する市町村が実施主体となっているため、いくつかの市町村の児童を預かっている施設側の請求手続きが煩雑になっている（例えば、キャリアアップ補助事業のように、施設・事業の所在地の市町村が実施主体となっていれば、そうした課題も解決できる。）</p> <p>③ 長期休業時の補助単価の増などインセンティブがあると、なお一層移行が推進される。</p>

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育の質を確保し、基準に従った安全保育を実施するため、対応は難しい。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	園ごとの利用にあわせて職員を配置しているため、メリットは少ないと思われる。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	研修期間中の代替職員の確保

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	実施のための予算確保（事業実施の優先順位）

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	保育人財の確保が難しい

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	×
具体的な内容	
課題	正社員となると、人事制度の整備が必要となり、ハードルが高い。

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	△
具体的な内容	平成29年4月の一斉入所選考から導入予定
課題	

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	実施のための予算確保（事業実施の優先順位）

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	児童数の増加により、活用できる空き教室はない。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	地域住民の理解・協力を得ることの困難性

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	△
具体的な内容	適した施設があれば検討していきたい。
課題	

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	×
具体的な内容	
課題	実施のための予算確保（事業実施の優先順位）

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	一時預かりの需要も多く、余裕スペースの確保が難しい。

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	近隣自治体でも多くの待機児童が発生している。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	複数回の住民説明会を実施しても、なかなか合意形成が得られないケースもある。

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：府中市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

* 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。

* 「実施状況」欄には、「◎」(以前から実施している)、「○」(H28.4.1以降実施している)、「△」(今後実施予定あり)、「×」(現時点では実施予定なし)のいずれかを記載して下さい。

* 「△」(今後実施予定あり)を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。

* 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	マッチングする先の保育施設等の不足 など

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	△
具体的な内容	
課題	2歳未満児の面積緩和により受入れ増加を図るためには、将来的に進級する枠の確保も同時に考慮する必要がある。この場合、2歳以上児の面積緩和を行うことで、2歳以上児の受入を増やす必要があるが、現状で2歳以上児の受入増加は困難である。(また、本市では0歳児の面積配置に上乘せを行っているが、0歳児面積を国基準とした場合は、0歳児定員は増加するものの、翌年度の1歳児定員の新規枠が減少することになり、結果として育児休業等の早期切り上げなどを誘導する懸念もある。)

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	施設(設置・運営者)の自主性や主体性の尊重

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	認可基準を満たさず施設が必ずしも認可施設等への移行を希望していない現状があること

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	相手方となる連携施設側の意向

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	△
具体的な内容	実施時期未定
課題	・施設側の意向や将来的な認定こども園への移行要件

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	・施設側の意向や保育の安全性の担保

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	△
具体的な内容	実施時期未定
課題	同一法人が設置する複数施設での共同保育の実施は検討の余地があるが、異なる設置者が運営する施設等の場合は実施が難しい。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	保育人材の資質向上等に係る確認が困難

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	○
具体的な内容	
課題	活用する補助スキームが単発（その後の維持経費やシステムバージョンアップ等の費用までは含まない）となる。

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	△
具体的な内容	
課題	支援の対象を拡大するのは非常に重要だが、保育士を優先せざるを得ない状況がある。

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	△
具体的な内容	実施時期未定
課題	使用者・労働者間の求める就労時間の乖離

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	△
具体的な内容	平成29年度利用調整より適用予定
課題	特定の職種で優先的な取扱を行うことについて、他職種との公平性の確保が難しい。（保育所に勤務する看護師、医師（嘱託医）、栄養士のほか、無資格の子育て支援員などの取扱にも波及する懸念がある）

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	△
具体的な内容	
課題	保育の質の低下等

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	△
具体的な内容	実施時期未定
課題	就学前児童人口の増加に伴い、活用可能な空き教室が不足していること

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	△
具体的な内容	実施時期未定
課題	活用可能な都市施設等の不足

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	△
具体的な内容	実施時期未定
課題	活用可能な地域インフラ（空き家、空き教室など）の不足

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	財源確保

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	△
具体的な内容	実施時期未定。定期利用保育事業（地方単独型保育事業）による活用を促進。
課題	すでに東京都からの財政支援を受け、当該事業と類似事業である「定期利用保育事業」（地方単独型保育事業）を実施済み

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	△
具体的な内容	実施時期未定
課題	管内に余裕定員（空き定員）が恒常的に生じている施設が無いため、現状において当該事業の展開が困難

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	活用可能な用地・建物等の不足

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：東京都調布市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

- * 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。
- * 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。
- * 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。
- * 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	△
具体的な内容	平成29年4月から保育コンシェルジュを設置する予定。
課題	現在、相談員を市役所窓口配置し利用者支援を行っている。本施策を活用して機能強化を図るうえで人材確保が課題。夜間・休日などの時間外相談の実施については、ニーズを踏まえて対応。

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	◎
具体的な内容	
課題	当市の保育所については、国の定める基準で運営を行っており、既に弾力的な受入れもしている。

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	△
具体的な内容	市内認証保育所事業者の認可保育所への移行に関する意向の把握と本施策の有効性を検証のうえで、移行支援を更に進めていく。
課題	事業者への財政支援、用地及び人材の確保。

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	審査基準に適合した事業者については、市内事業者に限らず、都外に本部を置く事業者からの申請も積極的に受けている。
課題	設備基準を満たしていても、事業実績のない事業者に対する審査は慎重にならざるを得ない。保育の質の確保という観点も重視をしていく必要がある。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	△
具体的な内容	当市では小規模保育所は1箇所のみ。「3歳の壁」問題があるため、0～5歳児の認可保育所を中心に整備を進めている。
課題	待機児童が多い都市部では3歳児定員の空きがないため、連携園の設置は困難である。このことから、当市では、小規模保育所卒園児の円滑な移行のため、選考基準において配慮し、卒園児の円滑な移行に向けて取り組んでいる。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	△
具体的な内容	市内の幼稚園が実施している預かり保育は、小規模保育卒園後の3歳児受入れを行っているものではなく、幼稚園独自の取組として実施しているものである。
課題	幼稚園側の協力を得ることが重要。実施にあたっては、人材確保及び調理設備等の設備改修に伴う財政負担が課題である。

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育の質を確保する観点から、本施策の実施は慎重な判断が必要。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	保育環境の変化による子どもへの影響や、怪我や事故時の責任の所在の明確化が課題である。事業者の意向を見極めながら慎重に対応する必要がある。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	○
具体的な内容	市内認可保育所で構成する保育園協会が主催で研修を実施している。
課題	職員確保が困難な中、研修を受講できる体制を構築することすら難しいという意見が事業者から多く寄せられている。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	○
具体的な内容	平成29年度予算編成過程の中で、事業者の意向を踏まえ、本施策を実施できるかどうか検討していく。
課題	1箇所100万円の上限に対する更なる増額を望む。

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	△
具体的な内容	現在、東京都社会福祉協議会において当該貸付事業を実施しており、市としても、当該貸付事業について周知を図っていく。
課題	

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	△
具体的な内容	短時間正社員制度の活用の推進や育児休業取得の推進について、引き続き、保育所等に対して働きかけをしていく。
課題	短時間勤務の保育士等の処遇を更に改善されたい。

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	×
具体的な内容	
課題	待機児童が多い中、職種に限定した優先枠を設けることは疑問。介護士や看護師等、多様な専門職がある中で優先枠の設定方法も課題。

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	○
具体的な内容	指導検査の中で、保育士配置の弾力化の特例措置について周知を図っている。
課題	保育の質の確保

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	◎
具体的な内容	国の示した施策を活用し、借地料への支援強化を図っている。
課題	市の財政負担の増

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	現在、市内小学校には、活用可能な空き教室等がない。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	市内には、活用可能な公園などの都市施設等がない。また、緑地保全の観点から公園の活用には慎重にならざるを得ない。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	市内には、保育所として活用可能な空き家などの地域インフラがない。なお、活用にあたっては、空き家等の情報が少ないため情報収集する仕組みづくりが必要である。

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	◎
具体的な内容	賃貸物件による保育所整備の場合、改修費補助を実施。
課題	賃貸物件による保育所整備に伴う工事費が高騰している傾向にある。現在、東京都において、市及び事業者の負担軽減措置を実施しているが、国の基準額を更に増額していただきたい。

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	◎
具体的な内容	実施をしている園もある。 一時預かり：11箇所 定期利用保育：3箇所
課題	保育士不足が深刻な都市部では、スペース及び人材の確保が課題。

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	待機児童が多い都市部の自治体では、実施が困難。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	今後示される予定の実施要綱を確認したうえで、コーディネーター配置の有効性について検証していきたい。

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：豊中市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

- ※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。
- ※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。
なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

- * 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。
- * 「実施状況」欄には、「◎」(以前から実施している)、「○」(H28.4.1以降実施している)、「△」(今後実施予定あり)、「×」(現時点では実施予定なし)のいずれかを記載して下さい。
- * 「△」(今後実施予定あり)を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。
- * 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	◎
具体的な内容	利用者支援事業の3つの形態を活用し、きめ細かな案内を利用者及びこれから利用を検討している市民に実施している。
課題	

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	△
具体的な内容	面積基準の緩和
課題	保育の質の担保が必要

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	△
具体的な内容	市の独自制度の認可外保育所に対する認可制度への移行の支援
課題	物理的なハードルが高い。認可基準(設備、職員配置など)を満たす施設がない。

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	株式会社等の積極的な認可、保育の質の担保が必要なことから、公募などにより最低限の基準を設けている。
課題	

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	◎
具体的な内容	卒園後に引き続き保育サービスが受けれるよう、新規申込者より優先的に案内している。
課題	法施行後の5年間は連携施設の設定について猶予期間としており、連携先のない施設については、2歳卒園後は市が利用調整を行い優先的に案内している。しかし、連携施設確保については現状進んでいない。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	△
具体的な内容	
課題	事業実施について、私立幼稚園への働きかけを行ったが、在園児以外の一時的預かり事業への理解が得られなかった。その理由として幼稚園の空き教室が無いなどの理由が挙げられている。

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	△
具体的な内容	
課題	現在は120%以上を2年間超える場合、公定価格の減算対象となることとしていているが、国の通知が改正されるのであれば、実施を検討する。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	△
具体的な内容	
課題	現状では土曜日共同保育の効果が把握できていないため、実施の有無を検討していく。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	◎
具体的な内容	公立・民間合わせて、市主導による研修会を実施している。
課題	

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	○
具体的な内容	
課題	

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	◎
具体的な内容	保育補助者に対する財政的支援
課題	

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	△
具体的な内容	本市における必要性および効果を検討中
課題	他の採用困難職種との整合性

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	○
具体的な内容	弾力化により配置できる人員については、子育て支援員研修を実施した者に限る運用としている。
課題	子育て支援員研修の実施（基礎自治体で単独で実施するのではなく、スケールメリットがあることから、都道府県単位での実施が望ましい） 当分の間となっていることから、運用について苦慮している。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	○
具体的な内容	
課題	

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	◎
具体的な内容	小学校、中学校の空き教室を活用した保育所整備は実施している。
課題	

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	○
具体的な内容	2か所の公園において、特区申請を行い認定されたところである。
課題	

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	○
具体的な内容	
課題	

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	△
具体的な内容	市有施設を活用し定期利用枠を設定した一時預かりの実施を検討中
課題	

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	本市においては、すべての地域で待機児童が発生している。 また、近隣市町村においても同様である。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	△
具体的な内容	防音壁への補助については、必要に応じて対応することとなる。
課題	環境整備（コーディネート等）については、コーディネーターにどのようなノウハウがあるか不明なため検討できない。

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：明石市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していただいた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

* 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。

* 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。

* 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。

* 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	△
具体的な内容	今年度中に市OB職員や資格者・経験者を2名配置し、保育所や幼稚園の入所申込みや各種相談、問い合わせ業務全般に対応するとともに、保育所を希望して入所できなかった保護者に対するアフターフォロー業務や市内の認可外施設から情報を収集するなど、幅広い保育資源・保育サービスの情報提供などを行う。
課題	

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	×
具体的な内容	上乘せ基準の設定は行っていない。
課題	

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	◎
具体的な内容	1,000人規模の受け入れ枠の拡充に合わせ、既存の社会福祉法人だけではなく、新設法人の参入も積極的に支援している。
課題	保育所の運営実績のない法人については、保育の質を確保していくことが課題であり、行政として積極的な支援が必要と認識している。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	△
具体的な内容	待機児童の多くを占める0～2歳児を受け入れることが出来る小規模保育事業の開始を検討している。 当市では、小規模保育事業を実施する場合、連携施設の確保を必須要件としている。
課題	連携施設になった場合、一定の園児の確保が見込めるものの、様々な支援を小規模保育事業所へ提供する必要があり、連携施設側のメリットが少ない。そのため、連携施設の確保が困難となる可能性がある。

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	私立幼稚園(2園)で預かり保育を実施。
課題	

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	○
具体的な内容	
課題	恒常的に定員を超えている場合、実態に合わせた利用定員に変更すべきであるが、低い定員のまま高い公定価格が適用され続けるため、自治体の財政負担の増加が懸念される。

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	◎
具体的な内容	同一法人が運営する近隣保育所では、以前から実施している。
課題	同一法人が設置する保育所間では可能であるが、それ以外の場合は保育への責任の所在の明確化などルール作りが必要である。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	私立保育所間での「人材交流」については、受け入れ体制が十分整わない場合が多く、実施が困難であると考えるが、公立保育所については、職員体制の充実や経験もあることから、人材交流等の受入先を公立保育所も対象とするなど柔軟な対応として欲しい。

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	△
具体的な内容	今年度中に私立保育所7園でICT化とビデオカメラの設置を実施する。
課題	ICT化による費用対効果が不明確なため、導入事例などの情報を提供して頂きたい。

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	○
具体的な内容	兵庫県では、公益社団法人兵庫県保育協会を実施主体として実施しており、市内の私立保育所・こども園へ周知済み
課題	当該保育人材確保事業は、実施主体が県や政令市に限定されており、実施の有無によって都道府県レベルでの格差が生じている。

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	×
具体的な内容	
課題	未だ短時間勤務を取得しづらい環境となっているため、制度のPRや助成金を今まで以上に手厚くする必要がある。

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	△
具体的な内容	今年度中に市内の認可保育所に就労する場合、雇用形態や労働時間に応じ、優先利用を行う。
課題	職種で差を設ける場合の市民(特に待機している他職種の方)への理解が必要である。

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	×
具体的な内容	
課題	早急な待機児童対策を行っていく中でも、入所児童の安全・安心及び保育の質の確保していくという観点から活用するかどうかを検討している。

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	○
具体的な内容	国の補助要綱のとおり
課題	土地を購入して整備する場合にメリットを受けることができないため、本体工事費の基準額自体の引き上げを行って頂きたい。

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	◎
具体的な内容	平成24年度に市立幼稚園の余裕教室を活用し、私立保育所分園3分園を開園し、平成28年度中にも新たに3園を開設予定。
課題	幼稚園利用者から、公立幼稚園内に私立保育所分園を設置することについて理解を得ることに時間を要した。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	現時点では、近隣住民が利用している公園などの都市施設の活用しての保育所の設置は検討していない。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	○
具体的な内容	保育対策総合支援事業の補助要綱が発出され次第、活用予定。 賃貸物件による保育所改修費等支援事業により、分園1園設置 小規模保育改修費等支援事業により、小規模保育事業所6園設置
課題	・早期に補助要綱を発出して頂きたい。例年通り補助要綱が発出されると見込み、分園設置予定事業者は賃貸物件や保育士を確保していたため、補助要綱の発出が遅れることで法人負担が発生している。 ・分園や小規模保育事業所は短期間での設置が可能のため、年1回の募集ではなく、複数回の募集として頂きたい。

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

待機児童解消に向けた緊急対策実施状況について

(別紙2)

市区町村名：浦添市

◆平成28年4月7日雇児発0407第2号『「待機児童解消に向けて緊急に対応する施策について」の対応方針について』に基づく事業の実施状況について、貴市区町村における状況を記入して下さい。

※ できる限り具体的に記載をお願いいたします。

※ 本年5月にも同様の形式で調査票の提出を依頼させていただきましたが、記載に当たっての留意事項の追記や項目・記載欄の追加を行いましたので、改めて提出をお願いいたします。

なお、本年5月の調査時点に提出した内容と重複がある箇所については、既に提出していた内容を転記いただいて構いません。

【留意事項】

* 各項目は、上記通知上の項目名にあわせています。

* 「実施状況」欄には、「◎」（以前から実施している）、「○」（H28.4.1以降実施している）、「△」（今後実施予定あり）、「×」（現時点では実施予定なし）のいずれかを記載して下さい。

* 「△」（今後実施予定あり）を選択した場合は「具体的な内容」の欄に開始予定時期を記載して下さい。

* 「課題」の欄には、既に実施している場合・実施を予定している場合は改善点を、実施予定がない場合で実施に当たっての障害となっている事項があればその内容を、記載して下さい。

◆ 保育コンシェルジュの設置促進

実施状況	○
具体的な内容	市窓口へ配置（保育士職を再任用）し、入所相談等利用者支援業務を行っている。
課題	人材の確保

◆ 保育所等への臨時的な受入れの強化の推進

実施状況	◎
具体的な内容	緊急受け入れ枠を設定し臨時的に受け入れができるようにしている。
課題	公立のみで行っているが、保育士不足が課題

◆ 自治体が独自に支援する保育サービスの支援

実施状況	×
具体的な内容	
課題	財政的な課題

◆ 認可基準を満たす施設の積極的認可

実施状況	△
具体的な内容	基本的には計画に基づいて公募→選考という形をとっているが、自主整備等の意欲ある事業者からの提案には応じている。
課題	認可基準を満たす施設がない。

◆ 小規模保育所等の卒園児の円滑移行

実施状況	◎
具体的な内容	連携施設の設定がない事業所について、行政が積極的に卒園後の認可保育所への入所調整を行っている。
課題	連携施設の確保が困難

◆ 幼稚園の預かり保育への支援強化等

実施状況	◎
具体的な内容	公立幼稚園においては、全園（11か所）で預かり保育を午後6時まで行い、さらにH28年度からは預かり保育の延長（午後7時まで）を実施している。H29年度からは3年保育を段階的に実施する予定である。
課題	預かり保育の人員確保（保育士・幼稚園教諭不足）

◆ 定員超過入所の柔軟な実施

実施状況	◎
具体的な内容	定員を超える弾力的な入所について柔軟に対応している。
課題	保育士不足

◆ 土曜日共同保育の実施可能であることの明確化

実施状況	△
具体的な内容	今後周知を図っていく。
課題	現在のところ土曜の共同保育実績がない。

◆ 保育人材の資質向上・キャリアアップのための研修の推進

実施状況	×
具体的な内容	他の研修等を活用している。
課題	

◆ 保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	財政的な課題

◆ 保育補助者雇い上げ支援等の推進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	財政的な課題

◆ 短時間正社員制度の推進等

実施状況	×
具体的な内容	
課題	

◆ 保育士の子どもの優先入所

実施状況	◎
具体的な内容	園と入所調整し、保育士（採用予定含む。）の子どもの優先にしている。
課題	

◆ 保育所等における保育士配置の弾力化の円滑かつ着実な実施

実施状況	○
具体的な内容	幼稚園教諭や看護師等の配置がなされている。
課題	

◆ 資材費等の高騰などを踏まえた借地料への支援の強化

実施状況	×
具体的な内容	
課題	財政的な課題

◆ 小学校の空き教室等の活用

実施状況	×
具体的な内容	
課題	小学校の余裕教室、公営住宅等において適当な余裕スペースがない。

◆ 公園などの都市施設等を活用した保育所等の設置促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	建て替えのための短期的な公園占有も地域住民から苦情が多い中で、永続的な占有に対して住民の理解を得るのが困難である。

◆ 地域のインフラ（空き家、空き教室など）を活用した一時預かりの推進など

実施状況	×
具体的な内容	
課題	財政的な課題 保育士不足（施設を整備しても保育士を確保できない。）

◆ 改修費支援の拡充

実施状況	×
具体的な内容	
課題	財政的な課題

◆ 緊急的な一時預かり事業等の活用

実施状況	△
具体的な内容	H27年度まで実施していたが、保育士確保が困難なためH28年度は実施を見送っている。定員を縮小する等の対応策を検討中である。
課題	保育士不足

◆ 広域的保育所等利用事業の促進

実施状況	×
具体的な内容	
課題	待機児童が多く、現状では広域の利用に対応できない。

◆ 地域の中での円滑な整備促進

実施状況	×
具体的な内容	県の保育士保育所総合支援センターの物件マッチングコーディネーターを活用している。
課題	

